令和5年度夜間中学設置促進説明会

守口市立さつき学園夜間学級の取組について

一広報・交流活動を中心に一

守口市立さつき学園夜間学級 指導教諭 橋本浩一

本日の発表内容

- 1. はじめに(さつき夜間の歴史と概要)
- 2. 「広報」の取り組みについて
- 3. 「交流活動」について
- 4. おわりに (「教育機会の確保」に向けて)

1. はじめに

(1) さつき夜間の歴史

- ①大阪府における位置
 - 大阪府北東部淀川左岸、北河内地区唯一の夜間中学
- ②さつき学園と夜間学級
 - ・2016年4月、守口市立さつき学園(義務教育学校) 開校
 - ⇒ 第三中学校と校区小学校の統合
 - ・後期課程(中学校)の夜間学級として設置され8年目
- ③守口における夜間中学
 - ・1973年4月、第三中学校に夜間学級開設(入学者23名)
 - ・三中夜間から、さつき夜間への連続性 今年度51年目

市立第三中学校夜間学被









1. はじめに

(2) さつき夜間の概要

①在籍生徒について(2023.5.1現在)

在籍数:127名

国籍別:14か国

年齢層:16歳~80歳代居住地:守口と周辺11市

2クラス編成

- ・5学級7クラス展開…日本語の「読み書き」の力に応じて
- 1、2、3組と基礎コース(A1·A2·B·C班)

③日常的な「学び」

- 教科等の学習と日本語学習 生徒会活動
- 学習と生徒会活動が「学び」の両輪

2. 「広報」の取り組み

(1) 生徒による継続的な主体的活動として

- ①生徒会を中心とした「夜間中学の存在を知らせる」取り組み
 - ・夜間中学の特質がもたらす必要不可欠な活動
 - 生徒自身の経験と「同じ境遇にある人」への思い
 - ・以前からの継続的な「広報」活動

②生徒募集活動

- ・様々な方法での「広報」活動
 - ⇒ 街頭チラシ配布やポスティング 地域 FMへの出演 チラシの配置や広報誌での「生徒募集」記事掲載の依頼
- 生徒による可能な範囲での協同による主体的活動

2. 「広報」の取り組み

(2) 生徒と教職員の協同による取り組み

- ①学活、生徒集会等での取り組みや意識の共有
 - ・学活での話し合い ⇒ 生徒募集や広報の方法、工夫
 - 生徒会役員会における意見などの集約
 - 生徒集会での呼びかけや報告等 ⇒ 協力、意見や感想
- ②アイデア・意見等の具体化
 - チラシのサイズ見直し ⇒ 活動の中からの気づき
 - 生徒による図案などをもとにしたチラシ、ポスター等の作成
 - 新たなチラシ配置依頼場所の開拓 ⇒ 生活経験
 - 「夜間中学の設置促進·充実事業」の活用















守口市春白町13-26 ■ 東京電車: 近原をおりてすた 06-6991-0637 ■ 大阪メトロ谷可順: 太子振今市駅 約700 m

守口市立さつき学園夜間学級

こんばんは! 夜間中学へようこそ

を関中学は、最務教育を受ける年齢をこえている人に、小学校・中学校の 教育を保障するためにできた学校です。

双音を終めするためにとった子校と3。 いろいろな運情があって学校で勉強ができなかった人や、そのために文字 の終み書きに扱っている人が、後に勉強するところです。とんな国語の人で も入学できます。墓間に聞いている人、えんぴつを握ったことのない人、 大歓迎です。「あいうえお」から学べます。

この案内を読んで、あなたも今日から私たちといっしょに勉強しましょう。



人学する人のために

* いろいろな事情で義務教育(小学校・中学校)を学業していない人や、 十分な教育を受けられないまま学業した人で、学齢(第15歳)をこえて いる人。

●大学手様を(必要な養殖) (1)大学希望中期首(守口市立さつさ学園支持学覧にあります) (2) 正民業(外国人の方は、国籍・地域が記載された注意賞)

◎ 単 食★ 無料: 義務教育ですから、授業料や教科書代は必要ありません。 * 通学にかかる交通費は、自己負担となります。ただし、所得によっては

交通費等を援助する「就学援助費制度」があります。 ※ 学生証と通学証明書で、通学定期を買うことができます。

* 卒業の時には、中学校の卒業証書がわたされます。高校進学もできます。

(2)教 科: 9教科など

◎<mark>授業</mark> (1)授業: 月曜日から金曜日。5時40分から8時50分まで。

国語・社会・数学・理科・音楽・美術 保健体育・技術家庭・英語・学活など

*张台 主權自、日曜日、祝日、著・夏・冬休み

- * 週に3回(月・氷・釜)にパシと生乳が出ます(わずかですが、費用が必要
- * 教科の学習以外に、生徒会活動や校外学習など、屋の中学校と同じよう な活動・行事もあります。

	= =		
時に始めたる青春の時に始めたる青春の子が学び舎に灯は点る。 「「「」」」。	自己の質疑 促しつ自己の質疑 促しつ自己の質疑 促しつ自己の質疑 促しつ	を できた	(守口さつき学園)
でいる ははる でいる でいた でいた でいた でいた できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	・ ・ ・ ・ は は は る で と を さ く て き き う き う き う き う き う き う き う き う き う	灯がは点る	夜の灯

生徒の言葉から













2019年度 守口市立さつき学園夜間学 級 共同作品



2. 「広報」の取り組み

(3) 学校と教育委員会の連携による取り組み

- ①守口市教育委員会との連携
 - 「広報」依頼のための周辺各市教育委員会への訪問に向けて
 - ⇒ 守口市教委を通じた訪問依頼と可能日の問い合わせ等 各市教育委員会の返答受け、訪問日を定めて連絡
- ②周辺各市教育委員会との連携、協力関係の構築
 - 各市広報誌における「生徒募集」記事掲載の依頼訪問
 - ⇒ 入学時期の前月号での掲載、内容等に関する要望
 - チラシ、学校案内などの公共施設等への配置依頼
 - ・さつき夜間(夜間中学)の教育活動に関する情報提供など

3. 「交流活動」について

(1) 交流活動の概要

- ①「交流」のはじまりと現在
 - 40年以上前、市内中学校からの依頼を受け、生徒が同校を訪問したことが嚆矢 ⇒ 子どもと夜間生徒の姿 新たな発見
 - 毎年、さつき学園の児童生徒や教職員をはじめ、小中高校生、 大学生、教職員等、市内外から多くの人々が来校して交流
- ②「交流」のようす
 - 夜間中学に関する学習会や夜間の生徒による作文発表
 - 授業体験や意見交流会などを通じた直接的な交わり
 - ⇒「学び」の共有、その後の感想や意見、質問

3. 「交流活動」について

(2) 交流活動の意義

- ①来校する子どもたちや教職員等にとって
 - 自らの日常を問い直す契機となる「交流」
 - ⇒「勉強できる」ことの意味や学ぶ姿勢の「ふりかえり」
 - ・子どもたちを見る観点、教育活動の在り方への省察
 - ⇒ 子どもたちとの関係性や「授業」の再考

②さつき夜間の生徒にとって

- 「他者」と出会い、「他者」を知り、自らを語る場(経験)
 - →「自己有用感」、相互理解、自己肯定感
- 日常の学びと往還しながら自らを省察し、変化させていく活動

3. 「交流活動」について

(3)交流活動と「広報」

- 1 「交流」を通じた夜間中学への認識、理解の深化と広がり
 - 事前学習や交流を通じた夜間中学の存在への認識、理解の促進
 - ・交流経験に基づく、周囲に位置する人々への情報の広がり
 - ⇒ 交流参加者の仲間や保護者、同僚教職員等 地域的な広がり(市内や周辺市町村) さらに時間的な広がりへの期待

②広報機会としての「交流」

- ・結果として、夜間中学の情報発信および広報の役割
 - ⇒ 様々な回路による潜在的ニーズの掘り起こし

4. おわりに

◎「学び」への思い

- 一人ひとりの切実な思い
 - ⇒ 辛さや悔しさ、生き辛さを抱えて入学してくる生徒
- 令和2年国勢調査の結果
 - ⇒ 数字の背後にそれぞれの境遇や思い

◎「教育機会の確保」に向けて

- ・日々の「学び」の充実
- 継続的かつ積極的な「広報」の重要性
 - ⇒ 夜間中学を必要とする人々の「学び」を実現するために